
【概要】 第四次時津町子ども 読書活動推進計画



1. 計画策定の目的と背景

平成19年 「時津町子ども読書活動推進計画」策定

平成26年 「第二次時津町子ども読書活動推進計画」策定

平成31年 「第三次時津町子ども読書活動推進計画」策定

時津町の子どもたちが生き生きと読書を楽しめるよう家庭・地域、学校、図書館等が連携・協力しながら取り組みを進めてきました。

第三次計画期間（R1～R6）における成果

時津町教育振興基本計画に掲げている「1週間に1回以上家族と一緒に本を読む子どもの割合」の目標値（小学生40.0%、中学生6.0%）を達成しました。

1. 計画策定の目的と背景

第三次計画期間における課題

- ・ 読み聞かせを実施している家庭の減少
 - ・ 児童・生徒の読書習慣の二極化
 - ・ 保護者の読書への関心の低さ
 - ・ 時津図書館利用率の低下
- など

これらの第三次計画期間の成果と課題や、この間の社会状況の変化を踏まえ、「第6次時津町総合計画」に掲げられている「豊かな心と学びのある町を創る」との整合性を図りながら、子どもの読書活動を推進するため、新たに「第四次時津町子ども読書活動推進計画」を策定しました。

2. 計画の目標・基本方針

目標

豊かな心と学びのあるまちを創る

1. 子どもが読書に親しむ機会の提供と充実
2. 多様な子どもの可能性を引き出す読書環境の整備
3. 子どもの読書に関わる機関の連携・協力の強化と人材育成



目標と基本方針のもと、家庭・地域、幼稚園・保育所（園）・認定こども園、学校、時津図書館の4つの分野が各々の役割に応じて相互に連携しながら、子どもの読書活動を推進します。

3. 子ども読書活動推進のための方策

※第四次計画からの新たな取組を抜粋

地域・家庭

- ・ブックスタート前の出産予定の住民とその家庭への啓発
- ・本にふれあうイベントの開催

幼稚園 保育所（園） 認定こども園

- ・時津図書館との連携による教職員の読書支援スキルの向上
- ・保護者への啓発活動を強化し、読書習慣の定着を図る

学校

- ・ICT端末を活用した検索の充実
- ・多様な媒体を活用した将来につながる読書という視点からの啓発

時津図書館

- ・分館の役割の見直し
 - ・各団体への資料提供による読書活動支援
 - ・学校と図書館が一体となった横断検索機能導入の検討
-

4.第四次計画期間における数値目標

第三次計画期間における成果と課題を踏まえ、時津町の子ども読書活動のさらなる進展を目指すため設定したものです。

数値目標の項目	基準 〈基準年度〉	令和11年度 (目標値)
乳幼児に対し読み聞かせをしている家庭の割合	72.4% 〈令和6年度〉	82.0%
ブックスタートにおける絵本の配布率(参加率)	50.2% 〈令和5年度〉	60.0%
1週間に1回以上、家族で本を読む子どもの割合	小学生 44.0% 中学生 14.0% 〈令和5年度〉	小学生 45.0% 中学生 15.0%
本を読むことが好きな子どもの割合	小学生 89.0% 中学生 77.0% 〈令和5年度〉	小学生 90.0% 中学生 80.0%
ボランティア養成講座実施回数(回/年)	2回/年 〈令和6年度〉	2回以上/年